

1. 保育の計画

- 評価・反省 ・毎学期、カリキュラムを見直したり、学年で次週の活動など毎週話し合い、計画に沿って取り組めたと思う。
- ・具体的な言葉がけや配慮を日案に記入し、保育に活かすことができた。しかし、こどもが主体性を損なわない保育が出来ていたかと考えると、まだこちらから活動を提示して行うことが多かったのではと感じる。
 - ・週末には学年で集まり、次週の計画を立てる用になっている。月末のタイミングでの話し合いは、忘れてしまうことがあるため、気を付けたい。
 - ・週末に学年で指導計画について細かく話し合えない時がありました。計画を立てる際ゆとりをもって立てるようにしていきたいと思います。
 - ・子供の実態に合わせての環境構成を、常に考えていきたいと思う。
 - ・建学の精神を理解し、園長先生の描く創造力豊かに描く理想の保育を目指していきたいと心から思っています。でも、全てを生かしきれていないのが実際のところ。学んだことを次年度に存分に生かしていきたいと思っています。
 - ・学年間での話し合いをきちんと持ち、見直しをもって保育の計画をすることができた。
 - ・今年度からホームページがリニューアルされて、1コマダイアリーや、園内の掲示板の行事・保育内容の掲示を積極的に行い、行事ごとに反省し、次に活かせるようにした。また、保護者への保育内容を伝えるきっかけとなり良かった。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・子どもの発達を考えた保育内容を心掛けていたが、導入等細かい点に配慮が足りないと感じた。来年度は特に、導入に気を付けて保育をしていきたい。
- ・保育の計画についての評価・反省を具体的に行っていく。
- ・環境設定の中で、更に遊びが発展したり遊びのきっかけとなるよう構成していきたい。
- ・月の始めに、その月のおおまかな計画を立てて置き週末に見直し、確認をすることで、準備などゆとりを持っていきたいです。年間計画を見て、どの位置で行うことができるか逆算して園外保育、行事を考えていきたいです。
- ・月末には、学年間で声を掛け合い次の月についてスケジュールを見ながら話しあっていく。
- ・大きな行事の練習では、どうしても疲れがでるため、やる気を引き出し、主体的に参加できるよう「頑張りポイント」つくる。